

海難事故防止と安全運航継続のため

海上保安庁（第一管区海上保安本部）と合同訓練を実施しました

2022年（令和4年）11月9日（水）、紋別海上保安部の巡視船「そらち」と釧路航空基地のヘリコプター「しまふくろう」との共同訓練を実施しました。

ガリンコ号Ⅲ IMERUが紋別沖を航行中、漂流している物体と衝突して推進器を損傷して航行不能になり、衝突の衝撃により乗客1名が負傷して重症状態になったという想定での訓練です。

巡視船「そらち」との曳航訓練とヘリコプター「しまふくろう」によるガリンコ号Ⅲ船上からの負傷者吊り上げ訓練です。釧路航空基地から紋別海域までは、ヘリコプターの場合約1時間で到着します。釧路海上保安部巡視船「えりも」の潜水士2人がヘリから船上に降下、担架に乗せた負傷者（ダミー人形）を吊り上げました。

今回の訓練目的は、ガリンコ号有事の際の救助手順の確認です。当日は、想定よりも手早く訓練を終了することができました。

海難事故は、絶対にあってはなりません。ガリンコ号はこれからも安全運航で、お客様に安心してご乗船できるよう日々努力してまいります。

写真はすべて訓練の画像です

国際信号旗 U・Y (訓練中)



巡視船そらちに曳航されるガリンコ号III IMERU



ガリンコ号III IMERU と巡視船そらち



ヘリコプターより潜水土降下



ガリンコ号III IMERU 船上より



潜水土による負傷者吊り上げ

